

(ご参考) JIVL概要および今後のプログラム・スケジュール

JIVL ～スタートアップ伴走プログラム概要～

- Japan Inclusive Ventures Lab (JIVL) は、モルガン・スタンレーが米州およびEMEA地域で展開するスタートアップ伴走プログラム「Morgan Stanley Inclusive & Sustainable Ventures」の知見を活用し、女性や多様なバックグラウンドをもつ創業者や経営陣が設立または運営する日本のスタートアップへの出資やカスタマイズされたプログラムの提供を通じ、成長を支援
- 経済産業省等のスタートアップ創出戦略に沿い、Born Global、経済社会構造変革、日本の持続的成長への貢献をキーワードとしてスタートアップの成長に伴走。投資リターンや本業とのシナジーといった従来の判断基準にとられない投資・支援の実現により、スタートアップエコシステムの構築とサステナビリティ課題解決に貢献

ミッション

1

日本においてグローバルなスタートアップエコシステム構築

2

経済社会における構造変革とサステナビリティ課題の解決を実践

3

日本の持続的成長に貢献

プログラムで提供するもの



CAPITAL

三菱UFJモルガン・スタンレー証券から2500万円の出資



CONTENT

カスタマイズされた6か月間のカリキュラム



CONNECTIONS

業界専門家のメンターシップ



COMMUNITY

起業家コミュニティからのサポート

オーダーメイドプログラム(参考例)

Value-upに向けて

- 日本スタートアップ業界について
- 海外コミュニケーション
- 資本市場／IPOの考え方
- エクイティストーリーの構築
- 経営者が考える組織戦略
- Exit戦略の考え方
- 投資家とのコミュニケーション
- バリュエーションの考え方
- マーケティング戦略
- ブランディング戦略

Demo Dayに向けて

Special Content

- メンターセッション

スケジュール

～2027年1月末	コンテンツ提供・各種サポート
2027年2月3日	Demo Day(ニューヨークまたはロンドン)
2027年春頃	Tokyo Demo Day、第4期募集開始予定

第3期(2026年)JIVLの伴走企業

ArchiTwin株式会社



事業概要	建設現場や船舶などの実空間を3Dで再現するデジタルツインサービスを提供しています。3D空間上でさまざまなデータやIoT情報を連携し、遠隔からでも現場状況の把握・共有・管理を可能にすることで、人手不足や現場管理の効率化といった課題の解決をめざしています
設立	2020年6月
代表取締役	クリストファーズ クリスフランシス
	この度、JIVLの伴走企業として採択いただき、大変光栄に思います。ArchiTwinは「デジタルツインで、空間の境界を越える新しい繋がりを」というミッションを掲げ、日本発のテクノロジーを世界へ届けることをめざしています。多様な経営者の挑戦を支え、Born Globalを後押しするJIVLは、その実現に向けた心強いパートナーです。本プログラムを通じ、世界市場への挑戦をさらに加速してまいります

株式会社エルシオ



事業概要	独自のフレネル液晶レンズ技術を活用し、自動でピントを調整できる「オートフォーカスグラス」を開発しています。老眼や近視をはじめとする視覚課題の解決を通じて、年齢や環境にかかわらず、誰もが「見たいものを、見たいときに見られる」世界の実現をめざしています
設立	2019年4月
代表取締役	李 蕤里
	このたびJIVLにご採択いただき、大変光栄に思います。私たちは、日本発の液晶レンズ技術によって、世界の「見える」をアップデートすることをめざしています。本プログラムを通じて、グローバルな事業戦略や資本市場への理解を深め、世界中の人々の視覚課題を解決する企業、経営者へと成長したいと思います

NewNorm Design株式会社



事業概要	サステナブルな建築資材のためのデジタルプラットフォーム「Matinno」を開発・提供しています。建築資材の持続可能性や環境負荷を評価・可視化し、プロジェクトごとの資材情報を一元管理するとともに、再利用・リサイクルまで支援します。資材管理・評価、CO ₂ 排出量や循環性の可視化、資材マッチングなどの機能を統合し、建物のライフサイクル全体での資材の最適利用と循環を促進します
設立	2021年4月
代表取締役	ファラ・タライエ
	選出されたことを大変嬉しく、光栄に思っています。プログラムを通じてできる限り多くを学び、成長できるよう、チーム一同、精一杯取り組んでまいります。そして、建築・エンジニアリング分野における女性起業家の新しい時代を切り開く一助となることをめざします